９月号　令和８年８月３１日発行

荏田小だより

横浜市都筑区荏田南町６９４番地
〒911－0149
[http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/]

自分で考え、つながりながら



校長　　村上　尚子

記録的な暑さが続いた今年の夏。加えて、７月下旬に起きた熊本での地震、８月に頻発したゲリラ豪雨、８月下旬夜中の緊急地震速報等、地震や不安を感じる出来事もあり、自然の力の大きさを改めて感じる夏となりました。被害にあわれました皆様、関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早く穏やかな日常が戻りますことを願っております。

さて、夏休み期間中、私たち教職員は、毎年、横浜市における今後の教育課程、教育活動に関する方向性について学び、研修する研究協議会に参加しています。そこで随所に文字や言葉でちりばめられていたのが「主体性」。子どもたちに「主体性を身に付けてほしい」と願うことがこれまで以上に大切になっています。

では、主体性とは何でしょうか。「自分が進んで行動すること」と考えがちですが、それだけではありません。自分なりの考えや思いをもち、周りの人とかかわりながら考え、選び、行動していくことも主体性の大切な姿です。

例えば、友達の考えを聞いて「なるほど」と思ったり、「自分はこう思う」と伝えたり、うまくいかなければ方法を変えてみたりする。そんな一つ一つの姿の中に子どもたちの主体性は育っていきます。

主体性は、子どもが一人で頑張ることで生まれるものではありません。安心して自分の考えを表すことができること、友達や先生に認めてもらえること、そして、誰かとつながりながら「やってみよう」と思えること。そうした環境の中で、少しずつ「自分で考え、動いてみよう」という力が育まれていくのだと思います。

だからこそ、本校が大切にしている「つながり」は、主体性を育てる上でも大きな意味をもちます。友達とつながる。先生とつながる。地域とつながる。そして、学んだことを次の学びや未来へつなげていく。子どもたちが、人とのつながりの中で、自分の考えをもちながら、自分らしい一歩を踏み出していける、そんな学校でありたいと思っています。

「どうしたらいい？」と誰かに答えを求めるだけでなく、
「私はこうしてみたい！」
「みんなでこうしてみようよ！」
そんな言葉が、教室のあちらこちらから聞こえてくることを願っています。

私たち大人も、子どもたちの「やってみたい！」を大切にしながら、その一歩を支えていきたいと思います。

最後になりますが、夏休み期間中に本校田んぼの草取りにご協力いただきました保護者ボランティアの皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。